

## 令和元年度 事業所による自己評価結果（公表）

事業所：ララスマイル 事業：放課後等デイサービス 公表日：令和2年3月 回答数：9

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	7	2		特徴の異なる4つの部屋を使い分けている。	
	2	6	3		法令を遵守し、ご利用者の状況等により加配での配置も行っている。	活動内容の充実に向け、職員の拡充を検討する
	3	9			スロープ・手すりを設置。	
業務改善	4	7	2		打合せ・ミーティング・振り返りの機会を設けている。	長期休暇時の開所時間が長い際の打合せ等のタイミングの工夫が必要。引継ぎ書などの書面も有効活用していく。
	5	5	4		ご利用者・ご家族からの意見等は日々のミーティングで共有・検討している。	
	6	9				書面及びホームページでの公開を行う。
	7			9		現時点では実施を考えていないが、必要に応じて法人として検討していく。
	8	9			研修参加及び研修報告を実施している	継続して積極的に研修参加を行っていく。
適切な支援の提供	9	9			記録の取り方を変更した。	日々の記録と振り返りを徹底していく
	10	7	2		発達年齢・特性に応じたツールを作成している。	定期的な再アセスメントを行っていく。
	11	7	2		担当を決めたうえで、最終的な確認は全体で行っている	
	12	8	1		内容が同じ場合でも、目標や活動意図を変更。飽きない工夫も。	

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	個々の状況や特性に応じた活動をとおして、支援が提供されていますか。	8	1		支援ニーズと発達状況にあった個別活動を提供できるよう努める。
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	3	状況に応じた日課組み。	
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9		将来を見据えた計画作成を意識して取り組んでいる。	
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	職員の勤務体制に合わせ、2回に分けて行っている。	内容より、活動意図などをもっと打合せする必要あり
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	4	時差勤務のため、翌日に行っている	パート職員も含め、情報の共有が不十分な場合も。書面等も活用する工夫も必要。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		記録のとり方を変更した。	
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	3		評価があいまいになるような計画の場合があるため、支援目標をより明確にしていく。
関係機関や保護者との連携	20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	2	放デイの役割と基本活動についての考え方の再確認を行った。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		児童発達管理責任者だけでなく、現場担当者も参加する機会を設けている	
	22	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	1	保護者にも協力してもらっている学校から予定表をもらっている。	
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	1		
	24	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	4	ケースによっては児童発達支援及び保育園の訪問を行った。	
	25	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	3		情報を共有できるよう、引継ぎ方法必要書面等の工夫を行っていく。
	26	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	27	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	2	学童保育の併用を促進している。	地域行事の参加の機会はあるが、より直接関わる機会を増やしていきたい。
	28	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	9			委員をしている。セミナーの開催。	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	2		口頭だけでなく、連絡ファイル工夫しより状況が伝わるよう取り組んでいる。	連絡ファイルを活用しているが、内容や伝え方にはさらなる工夫が必要。
保護者への説明責任等	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9			ペアトレカフェを実施。	より多くの方の参加や保護者間のつながりがもてるような企画を実施していく。
	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9				
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	2		必要に応じて面談・家庭訪問を行っている	お迎え時でも相談しやすい環境づくりに努めていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		意見があった場合は職員で共有・すぐに対応を検討	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	2		必要に応じて書面で配布。	おたよりの発行が滞った時期があった。定期的な発行に努めていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	9				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	8			ボランティアの受け入れだけでなく、事業所発信の行事も検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1			周知が不十分。周知方法を検討し、情報発信していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			災害対応マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	5		セルフチェックの実施。	法人での研修会を実施していく。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	身体拘束についての詳細を組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	4	5		対象者はいないが、いる場合は支援計画への記載を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	事前確認。 対応の際はダブルチェックを実施	医師の指示を必要とするようなケースは現在なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	4	日誌への記載。	会話ではあるが、書面でおこしていない場合もある。

\*この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。